

屋外活動時はクモやダニに注意!

ここ数年、新聞などで「セアカゴケグモ」や「マダニ」による被害が報道されています。暖かくなるこれからの季節、屋外活動時は、次のことに注意してください。

● 見つけても、素手で触らないようにしましょう
● 屋外で作業するとき、長靴、軍手などを着用し、首にタオルを巻くなどして、肌の露出を避けましょう
● 野山から帰って来たら、肌や衣服に付いていないか確認しましょう
● 「セアカゴケグモ」は、



毒があるセアカゴケグモのメス



【参考】セアカゴケグモと間違いやすい「ジョロウグモ」。毒はありません

● セアカゴケグモ かまれると針で刺されたような痛みを感じ、その後、多くの場合、かまれた部分の周りが腫れて

かまれたときの症状と対処方法

日当たりが良い場所にある人工構造物のすきまや内部を好むため、近隣の自治体では、屋外に置いてあるサンダルを履いたときの事故が報告されています。屋外に置きっぱなしのサンダルを履く場合は、十分注意しましょう。発見した場合は、環境課へ連絡してください。

マダニ

かまれても痛みがなく、気が付かない場合もあります。かまれると、あごが皮膚にしつかり食い込み、簡単には取れません。無理に引っ張ると、あごの部分だけ、皮膚に残ってしまうことがあるため、医療機関（皮膚科）で取ってもらいましょう。

特徴・習性

セアカゴケグモ

メスの体長は約1センチ。全体が黒く背中と腹部に赤色の帯状の模様があり

本講座でダンボールコンポストをプレゼント

生ごみ堆肥化講座

■問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421

市では、平成27年度も「本講座」を受講すると、ダンボールコンポストをプレゼント。平成26年度に受講した人にもプレゼントします。（平成27年度1世帯1セット限り、フォロー講座はプレゼントなし）数に限りあり。いずれのコミセンでも受講可能です。日程などは随時、市広報紙でお知らせします。

- *「本講座」ではダンボールコンポストの使用方法を紹介、「フォロー講座」では実践後の疑問に答えます。「相談会」では、さまざまな相談にのります
- *できた堆肥を使わない場合は、環境課窓口（市役所西館2階）で引き取ります

ダンボールコンポストとは、ダンボール箱の中に基材を入れて、微生物の力で生ごみを分解し、堆肥化するものです。1基で3～6カ月、約50kgの生ごみが処理できます。



【利用者の声】

生ごみが少なくなり、出来た堆肥で野菜作りが楽しみです
(50歳代・女性)

【5月の講座、相談会】*講座のみ各コミセンに事前申込必要。定員あり

	日程	時間	場所・申込先（月曜日は休み）	☎
本講座	5月8日(金)	10:00～11:30	池野コミセン	(62)2003
	5月10日(日)	13:30～15:00	赤間コミセン	(39)7051
	5月27日(水) 託児付き	10:00～11:30	赤間西コミセン	(38)9506
フォロー講座	5月12日(火)	10:00～11:30	自由ヶ丘コミセン	(32)5594
	5月21日(木)	10:00～11:30	東郷コミセン	(36)7711
相談会	5月13日(水)	10:00～12:00	河東コミセン	(35)1837

- 託児 無料（6カ月以上）
- * 託児は、5月19日(火)までに事前申込必要。おむつ（ビニール袋、おしりふき）、着替え、ハンドタオル、お茶、ミルク（湯冷ましも）を持参（持参品には全て名前を明記）

住宅用太陽光発電設備を設置した人は申請を

● 内容 平成26年4月以降に契約し、自宅に住宅用太陽光発電設備を設置した人に補助金を交付
● 申込締切日 設置日（九州電力と接続を開始した日）から1年以内
● 予定件数に達した場合は、年度途中でも補助が終わる可能性あり
● 詳細は問い合わせ先
● 問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421



フタトゲチマダニのオス（岡山環境保健センター提供）

マダニ

体長は、約3ミリ1センチ。春から秋にかけて活動し、ササ類の葉先などに集合して、宿主（鳥動物、人）が通ったときに寄生します。

通常は、3～4日程度の大きさですが、血を吸うと1センチ以上になります。毒はありませんが、吸血時に注入する唾液で、病原体を媒介する場合があります。

■問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421

緑のカーテンを植えてみませんか

緑のカーテンとは、日光が当たる建物や窓などの外にアサガオやヘチマ、ゴーヤなどのツル性植物を、ネットなどを利用して育て、日差しを遮ることで室内温度の上昇を防ぐ方法です。

市では、緑のカーテンコンクールを実施します。詳細は、市広報紙7月15日号でお知らせします。

昨年取り組んだ盛永常美（つねみ）さん（67歳・南郷）は「以前は、よしずを使っていましたが、平成25年からグリーンカーテンをしています。グリーンカーテンがあると見た目も涼しいし、温度も違います」と、効果は抜群のようです。他にも、「朝日を遮って部屋の涼しさを感じる」「ゴーヤは食べられるし、部屋の温度は3℃くらい違うと思う」「涼しさでアサガオの花が楽しみ」と涼しさだけでなく、花や収穫を楽しみに取り組んでいる声が聞かれました。

5月の連休に種まきをして、今年の夏は、緑のカーテンで涼しい夏を過ごしてみませんか。



盛永さん宅のアサガオ

■問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421